

## 令和5年度 学校評価報告書（目標設定）

視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>① 課題を発見し、自ら主体的に学ぶ意欲を養い、思考力、判断力、表現力を育む。</p> <p>② 学校行事や生徒会活動を充実させ、生徒の主体性の伸長を図る。</p>	<p>① 組織的な授業改善を深化させ、マネジメント力を高めるとともに、プログラミング的思考やSDGsの視点を取り入れた授業実践を行い、生徒の論理的思考力・課題解決力を高める。</p> <p>② 生徒主体の活動を後押しし、学校行事、委員会活動、部活動の充実を図る。</p>	<p>① プログラミング的思考を取り入れた授業の組み立てにより、ものの見方・考え方を働かせる授業を行う。 ・ねらいを明確にした思考させる事例をベースに組織的な授業改善を行う。 ・各自の課題を発見させる機会を増やす。</p> <p>② 生徒一人ひとりの役割を明確にし、活躍の場を与えることを意識した活動を計画し実行する。学校行事を生徒主体で企画・運営していけるようサポートする。</p>	<p>① 生徒による授業評価で各項目の評価が3・4を合わせて90%以上となったか。 ・ねらい、方法、評価を明確にした思考させる授業作りを全教科・全科目で行うことができたか。 ・ポートフォリオ形式で各自まとめることができたか。</p> <p>② 生徒主体の生徒会本部の活動、委員会活動が行えたか。 ・学校行事への参加率、生徒の満足度が90%以上あったか。</p>					
2 生徒指導 ・ 支援	<p>① 基本的な生活習慣や社会性を身につけさせ、他者を尊重する態度を養うとともに、きめ細かな教育支援に努める。</p> <p>② 部活動の活性化を通して、責任感や連帯感の育成を図る。</p>	<p>① 生徒の現状にあったルールの見直しと学校全体で統一されたルールに基づく頭髮、服装指導や遅刻指導を徹底する。 ・地域に信頼され、地域に貢献できる生徒を育成する。 ・教育相談体制を整備・拡充させる。</p> <p>② 部活動加入率を上げ学校全体の活性化を図る。</p>	<p>① 各学年、各担任間で連絡を密にし、統一した指導を行う。 ・遅刻回数に応じて指導方法を変え、徹底を図り、遅刻に対する意識を高める。 ・積極的に登下校の指導を行うことにより、生徒の交通安全のみならず、地域の安全安心を目指す。 ・SC、SSWによるカウンセリングと支援の充実を図る。</p> <p>② 学校の部活動方針に基づき活動する。 ・部活動オリエンテーションを充実させ、さらに体験入部期間を設けることで部員確保に繋げる。</p>	<p>① 始業式や終業式など全学年が一堂に会す場で統一した指導ができたか。 ・遅刻の件数を例年と比較し、減少したか。 ・事故の件数や、苦情の件数が例年より減少したか。 ・支援が必要な生徒に教育相談の機会が十分に与えられたか。</p> <p>② 学校の部活動方針に基づき活動できたか。 ・学校全体の加入率が40%以上あったか。</p>					
3 進路指導 ・ 支援	<p>○ 生徒のキャリア実現をサポートできるようキャリア教育実践プログラムを充実させる。</p>	<p>① 進路実現に向けて1・2年生での進路探究を進めモチベーションを高める。</p> <p>② 生徒や保護者に向けた各種情報発信を工夫する。</p> <p>③ 基礎学力をより高めながら、上級学校への意欲を高めるキャリア支援を行う。</p>	<p>① オンラインと連携してキャリア教育を実施し、36ヶ月キャリア計画に沿って進路活動を実施する。</p> <p>② Classroomや動画配信を充実させ、進路関連情報を生徒や保護者に提供する。</p> <p>③ ステディアプリやステディプリンティング、実力テストなどを活用し、基礎学力を高める指導を行う。</p>	<p>① インターンシップや各種ガイダンスなどへの参加が増え、36ヶ月キャリア計画に沿って進路活動を実施できたか。</p> <p>② 年間を通して、その時期に応じた進路情報を生徒や保護者に適切に提供できたか。</p> <p>③ 到達度テスト等の結果を分析し、学力向上に反映することができたか。</p>					
4 地域等 との協働	<p>○ 保護者、地域と連携して、信頼される学校づくりを進める。</p>	<p>① 学校運営協議会の活性化を図るとともに、PTA活動や防災活動を通して、地域との連携を進める。</p> <p>② 学校説明会、中学校への学校紹介資料の配付、ホームページ等を通して、本校の特色を幅広く発信し、魅力を紹介する。</p>	<p>① 学校運営協議会によって課題や目的を共有し、改善方法を共有する。また、PTA活動への積極的な参加を促す。また防災支援時事業研修を通して、地域との共助の意識を高める。 ・地域の要請に応じて、地域連携事業に積極的に参加する。</p> <p>② 学校説明会参加希望者に本校の魅力特色を伝える工夫を図る。 ・各グループにホームページ担当を配置し、積極的に更新する。</p>	<p>① 学校運営協議会によって課題や目的を共有し、改善できたか。 ・PTA活動への参加者が、昨年度よりも増えたか。 ・地域の方々が、防災研修へ参加できたか。 ・地域の要請に応じて積極的に参加できたか。</p> <p>② 学校説明会等で学校の魅力特色を適切に伝えられたか。 ・ホームページは常に最新データに更新されたか。</p>					
5 学校管理 学校運営	<p>① 安心で安全な教育環境を確立し、生徒一人ひとりが「気品と誇り」を持ち、のびのびと学習できる環境を整備し、より良い学校づくりを推進する。</p> <p>② 教員の働き方改革を推進するための意識改革を図り、ワークライフバランスを推進する。</p> <p>③ 職員全体で事故防止に取り組む。</p> <p>④ 学校図書館が学校生活の様々な場面で活用されるよう努める。</p>	<p>① 職員・生徒・保護者等が一体となってより良い教育環境づくりを行う。</p> <p>・効果的な換気の徹底と基本的な感染防止対策を講じながら通常の教育活動を実施する。</p> <p>② 1日単位で10日以上年休が取得できるよう、業務調整する。</p> <p>③ 服務管理をはじめ入学者選抜、成績処理、調査書発行等における事故を未然に防止する。</p> <p>④ 生徒一人一人の課題を引き出し、興味・関心に寄り添う図書館をめざす。</p>	<p>① 職員・生徒・保護者等が協力して、交通安全指導や安全点検を行うとともに、清掃活動や校内環境整備行事を行う。 ・換気を徹底し、手洗い等を励行する。</p> <p>② グループ・学年単位で業務の精選と分担を見直し、組織的な業務改善を実施する。 ・次年度の業務軽減を図るため、引継ぎを徹底する。</p> <p>③ 定期的に不祥事防止会議を実施し、啓発資料等を効果的に活用しながら職員の当事者意識を高める。</p> <p>④ 本校生徒のニーズに合った図書館運営を行う。 ・図書館に関する情報を積極的に発信していく。 ・地域・外部との連携を進める。</p>	<p>① PTAや学校保健委員会、厚生委員会と連携し、校内整備を進めることができたか。 ・感染症を防ぎ、通常の教育活動を実施できたか。</p> <p>② 業務を精選・分担できたか。 ・1日単位での年休を全職員が10日以上取得できたか。</p> <p>③ 定期的な不祥事防止会議及び不祥事防止研修会を年間通して実施することができたか。</p> <p>④ 図書館の利用率・利用頻度は上がったか。図書館が関わる授業利用が増えたか。 ・広報活動を、各種メディアを用いて継続的に行ったか。 ・地域・外部との連携を進めることができたか。</p>					